



人を元気づける「ことば」の力

「泉(源)同(成) 大和(和)同(の)国は 福(福)同(の)国は 福(福)同(の)国は

助(助)ぐる国(国)ぞ ま(ま)幸(幸)同(の)国(国)は 福(福)同(の)国(国)は 福(福)同(の)国(国)は

日本人には古来から「ことば」を大切にしてきた歴史があります。上の和歌は、奈良時代の歌人「山上憶良(やまのうえのおくら)」によってよまれたものです。意味は、「日本の国はことばの霊力のある国なので、ことばを大切になさってご無事ですごしてください」ということです。

考えてみれば、確かに「ことば」には、ものすごく人を元気づける部分と、逆に人を傷つける部分の両面があります。だからこそ、昔の日本人は「ことば」を大切にすれば、ことばの霊力がその人を必ず「幸せ」にしてくれると考えたのです。反対に、ことばを粗末(そまつ)にすれば不幸がくると信じていたのでしょう。「言霊信仰(ことだましんこう)」とは、日本人らしい「人間を大切に考える考え方」なのです。

11月の1年の学級通信に「人の嫌がることばを口に出してもそれに気づかない生徒」への不安が書かれていました。また3年生の学年便りには「人として恥ずかしいと思う気持ちがなくなっているのでは？」という現代の日本人への不安が書かれていました。いずれも、相手の人の気持ちを大切にして「ことば」を口に出すことが大事であり、すなわち「言霊」を裏切らない【美しい日本語】を心がけることの大切さを説いています。機会があれば、お子さんと今の自分達の「言葉遣い」を話し合う場を設けていただければ幸いです。

良い言葉と悪い言葉 ートライやる・ウィークー

11月14日～18日の1週間、2年生全員が地域の事業所や施設で「勤労体験」を学ばせていただきました。各施設の皆様には心からお礼申し上げます。また、ご協力ご支援いただいた保護者の皆様、特にPTA役員(トライやる推進委員)の皆様には感謝申し上げます。暑さ・寒さに負けず職場に足を運ばれたこと、頭が下がります。

さて、生徒たちもおかげさまで5日間、生き生きと楽しく「やりがい」を持って体験学習ができました。苦情もなく、逆におほめの言葉をたくさんいただきました。例年になく「生きる力」を感じさせる元気のいい学年の子供たちだったとほめていただき、感謝と誇りの気持ちでいっぱいです。

ここで、尼崎プラザホテルで学んだ八十原さん(2-4)の感想を紹介します。

最初は何をしていいかわからず、ただオロオロしていた私達を、優しく迎え入れてくださり、丁寧に教えていただいて緊張が和らぎました。仕事が忙しい中でも、私たちができることを探してくださり、多くのことを体験させてもらいました。一緒にフロントに立たせてもらい、お客様に「中学生？ 頑張ってるね。」などとたくさん声をかけていただき、とてもうれしくてがんばろうと思いました。ベッドメイキングは、私達3人でやっても早くも10分くらいかかるのに、メイクさん達は1台3分でベッドを組みそれを一人で16個も組むということに驚きました。

最終日、支配人の方が「良い言葉を使うと自分も良くなる。悪い言葉を使うと自分も悪くなる。だから皆さんは、良い言葉を使って良い人間になってください。」とおっしゃいました。なので、将来どんな職業についても、良い言葉を使っていこうと思います。ここで学んだことを忘れずに、これからもいろんなことにチャレンジしていきたいです。本当に充実した5日間でした。



がんばった生徒たち **スポーツの部**

- 男子バレーボール部 県新人大会 **第3位**
- 柔道部 阪神新人大会 45kg級 **第1位** 内間太一(1-6) 71kg級 **第1位** 金田拓海(1-2) **第2位** 西田稜太郎(1-5)
- 剣道部 市長旗大会 **第3位**
- 野球部 1年生大会 **第3位**
- ソフトボール部 1年生大会 **準優勝**

がんばった生徒たち **文化の部**

- 尼崎市人権作文コンクール **入選**
- 吉岡桃華(3-4) 「捨てられた犬猫たちの運命」
- 松瀬清香(3-3) 「原発事故をきっかけに考えること」
- 禁煙ポスターコンクール **最優秀賞** 大杉紫乃(2-5)
- 尼崎市読書感想文コンクール
- 準特選 丁田昂樹(3-2)
- 入選 島川伶菜(3-2)・田原綾乃(1-1)・木島菜々美(1-2) 梅谷向日葵(1-4)・古谷颯菜(1-5)・新堂沙和(1-6)

- 阪神総合文化祭書写部門 **入選**
- 福田愛梨(3-2)・長濱優依(2-2)・山野沙代(1-1)

- 学童交通安全ポスターコンクール
- 一等 吉田有花(3-3) 三等 太田舜人(2-5)

- 佳作 橋本明夏(2-3)
- 尼崎市中学校社会科作品展 **優秀賞**

- 「金閣と銀閣新聞」福谷優太(2-6)
- 兵庫県中学校総合文化祭展覧会 **特選** 横田美月(3-3)

- 入選 齋藤佳奈(3-4)・田口呂美(2-2)
- 阪神技術家庭科研究大会出展作品 「わたしの成長記録」
- 優秀賞 高土泰子(3-1)・井筒絢香(3-4)・武田麻里(3-6)

尼崎双星高校開校式典

さる11月19日(土)に今年度から新設された「尼崎双星高校」の開校式が行われました。学校代表で私と福田PTA会長の2名が招待されました。初々しい第1期生が新しい校歌を披露してくれました。その中で、前女子バレーボール日本代表監督 柳本晶一氏の講演が印象的でした。

・挫折のまま終わるのでなく、次の新たな目標に向かって努力し始めたとき、これまでの挫折が「経験」となって自身に役立っていく

・「失敗」し「挫折」し目標が達成できなかったときに「変化」の大きなチャンスだ

・すべてを周りのせいにしてしまうのではない。まず自分自身を変えていくことだ。自分が変わって初めて、周りも変わる。

この三つの言葉が私の胸に深く刻み込まれた気がします。新しい市立高校の前途に幸あれと願います。

吹奏楽部定期演奏会終わる

双星高校の開校式の日の夕方、アルカニックホールの大舞台上、本校吹奏楽部の第7回定期演奏会が催されました。厳かな第一部、美しいマーチングの第二部、そしてOB・OGを交えての大迫力の第三部。さすが、中央の吹奏楽、大勢の本校関係者だけでなく、地域の人も喜んでくださいました。その中で、18名の3年生が見事引退セレモニーを終え、有終の美を飾りました。お疲れ様でした。また、ご支援いただきました皆様、本当にありがとうございました。